

第18回市民文化ホール建設委員会議事概要

日 時	平成 24 年 8 月 30 日 (木) 19 時 00 分～21 時 00 分
場 所	福祉会館 3 階会議室 1
出席者	<p>委員 土井健司、徳永幸夫、石川進、井上仁、大西高義、近藤達之介、齋藤正、四国中央警察署、鈴木千明、鈴木太、高橋華子、高島澄江、土谷浩也、藤原達也、古川静江、星川将一、三谷一恵、一色鉄馬、鈴木延寿</p> <p>事務局 利藤企画財務部長、河村市民文化ホール等整備課長、田辺課長補佐、今村課長補佐、中山係長、加地係長、福田係長、佐藤、加地市民交流課長、戸田こども課長、吉岡建築住宅課長補佐</p> <p>空間創造研究所 米森</p> <p>日建設計 江副執行役員、小野主管、佐賀、白井</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	

(協議概要)

項 目	協議概要
■会議の成立について	○委員長：委員 25 名中 18 名出席。過半数の出席を確認したので委員会は成立。
■会議の公開、非公開について採決	○委員長：本日の議題が「基本設計について」であり、非公開とする議題ではないので公開。
■第 17 回議事概要について	○事務局：第 17 回議事概要について説明。
■協議内容について説明	○事務局：本日の協議内容について提案及び説明。 ・大ホール・小ホール平面計画について ・バーチャルリアリティーによる内観・外観計画シュミレーションについて ・その他
■ひとづくり支援センターについて(報告)	○こども課長：H 25 年度に基本設計・実施設計に取り掛かる予定だったが、市民文化ホールと同一敷地内に建設することから建築事業に係る建築確認申請の時期を市民文化ホールと合わせる必要がある。建築確認申請を 5、6 月にするのであれば H 24 年度中に基本設計・実施設計に取り掛かる必要

■大ホール・小ホール平面計画について

が生じた。そのため9月議会に基本設計並び実施設計業務委託料の予算を計上する予定にしている。尚、費用については基本設計を除く実施設計の部分が合併特例債の対象となる。人づくり支援センターの概要は、配布資料を参照。

○委員長：芝生広場の使い方について現在建設委員会で考えているが、ひとづくり支援センターの方でも提案いただきたい。

○こども課長：大きなテーマとして、芝生広場を開放的な交流の場、共生の場として機能していくために模索している。

○委員：ひとづくり支援センターと市民文化ホールのスケジュールをできるだけ一致させて同時進行を進めていくことは賛成。建設委員会は日建設計が担当しているが、ひとづくり支援センターの設計担当は未定なので、いつかの時点でお互い設計者同士の連絡調整が図られるべきと考えている。是非設計者同士の連絡調整の場を設けてほしい。

○日建設計：前回の建設委員会(7/19)にて頂いたご意見を元にした、平面計画の見直し案を提示。

○委員：リハーサル室の2階部分に空間はあるのか。また、ある場合はその空間は必要なのか。

○日建設計：5m超の天井高はある。ダンスのリフトなどへの対応と、舞台セット(照明等)を設営してリハーサルする場合があるため、通常天井高さ4m以上必要と考えている。またオーケストラ等のリハーサルに使用する場合、音環境的にエアボリュームが必要なので2層吹抜け分の天井高が望ましい。

○委員：リハーサル室はもともと間口16.5mの計画だったが、間口を2m減らすのは相当なボリューム減では。最初のイメージから間口が小さくなるというだけでみずぼらしくなるという感覚がぬぐえないところが個人的にはある。複数の更衣室が必要なのか。他の部屋で代用できるのではないか。ラウンジ・ビュッフェなどのバック諸機能を削り実際市民が使用するスペースは確保したほうが良いのではないか。

○日建設計：練習室ゾーンには更衣室を設けた方が良いと考え計画したが、更衣室等諸室の要否については検討したい。トイレや更衣室廻りは整理して少しでもリハーサル室をより大きい間口にしていきたいと考えている。

○委員：プロポーザル時に案を評価した箇所として、リハーサル室の大きさとリハーサル室と大ホール舞台が一直線でつながっている動線計画がある。今回の案ではその動線計画が変更されているが、修正可能と思うので検討してほしい。また小ホールの車いすスペースの動線計画について、段差解消のため舞台へのアクセスをスロープで対応させれば、車いすスペースを1F舞台前に持っていくことが可能ではないか。表彰時にスムーズに舞台上がれるとより良くなると思うので検討してほしい。

○日建設計：リハーサル室～大ホール舞台の一直線のつながりを変更した

<p>■バーチャルリアリティー（VR）によるシミュレーションについて</p>	<p>のは、音響上の懸念から。再検討したい。スロープは躯体と連動していて難しい。廊下動線は全てフラットにしていきたい。客席最前列から舞台上がる場合はエレベーターで75cm上昇してアクセスできるようになっている。</p> <p>○委員：車いすスペースを1F 舞台前に配置することは可能か。</p> <p>○日建設計：可能。車いすスペース位置を変更する。</p> <p>○委員長：リハーサル室を間口15m程度にできるか。</p> <p>○日建設計：更衣室とトイレのプランを整理すると可能性はある。</p> <p>○委員：楽屋があるのに更衣室は必要か。</p> <p>○日建設計：小ホールとエリア分けしているため、更衣室は楽屋ゾーンの更衣室ではなくリハーサル室と練習室の利用者用として必要。</p> <p>○委員：特定テナントスペースは初めて出てきたものか。</p> <p>○日建設計：事務局と調整中。</p> <p>○委員：ユニバーサルスペースについて、おむつ替えコーナー含め子供を預かったり、遊びのスペースを文化ホールとして確保したい。単におむつ替えスペースではなく、もう少し広いスペースをとれないか</p> <p>○日建設計：事務局と調整中。ユニバーサルスペースについて要望があがってきているので管理諸室との調整を含め報告していきたい。</p> <p>○委員長：委員から指摘のあった、ホールとリハーサル室、まんなか広場を結ぶ動線以外はほぼ動線として完成してきたかと思う。トイレ・更衣室・練習室等は必要最小限のものが必要なところにあるという形にはなっている。搬入スペースの変更について委員から何か意見あるか。</p> <p>○委員：問題ない。</p> <p>○日建設計：概要を説明。</p> <p>○委員長：芝生広場のところを人がいる風景としてCGを作成してほしい。</p> <p>○日建設計：調整中。人の配置や植栽等もう一工夫して最終版を作成したい。</p> <p>○委員長：車廻りの部分はアスファルト・コンクリートにするかの議論があり、恒常的には車が入ってこないということで芝のイメージで作成してほしい。芝生広場に準じるような扱いができるという認識で。</p> <p>○委員：VRは今後より具体的なものを見せてもらえるのか。もしくはこれで終わりか。</p> <p>○日建設計：最終的にプランが確定したらモデリングを確認した上で、人の配置や植栽等をより良く調整する予定。HP上で公開できるようにしたい。</p> <p>○委員：他の文化ホールのVRでは、もう少し色味等リアルなものであった。今の段階では暗いイメージがあるが、調整してよりリアリティを増してほしい。</p> <p>○日建設計：今後、調整したい。</p> <p>○委員：北隅・南隅等、北の遊歩道の関係等、周辺の土地との関係をわかりやすくしてほしい。自治会で周辺の方への説明ツールとして用いたい。</p> <p>○委員長：CGやVRは欲を言えばきりが無いが、何のために使うものか整</p>
--	---

<p>■その他</p>	<p>理し、ニーズを満たすものをお願いしたい。</p> <p>○委員：コンペ案よりフライタワーが大きくなっているのは日影問題がクリアしたと考えてよいか。</p> <p>○日建設計：日影問題は大枠クリアした。</p> <p>○委員：南側の水盤～市道の傾斜がきつようにみえるが、どの程度か。</p> <p>○日建設計：おおよそ30度の傾斜。低木など配置し転落の無いよう安全対策を図りたい。</p> <p>○委員：30度の傾斜では人が座ることができないのではないか。</p> <p>○日建設計：既存の堤の傾斜はおおよそ30度の傾斜なので問題ないと思われる。</p> <p>○委員：高さはどのくらいか。</p> <p>○日建設計：おおよそ3m。</p> <p>○委員：3mは危険ではないか。</p> <p>○委員：設計者として斜面を利用し座らせようと意識があるのか。</p> <p>○日建設計：一番上の段に一段ひとが座る。傾斜面に人が座るようには想定していない。</p> <p>○委員：柵を作ることは考えているか。</p> <p>○日建設計：傾斜30度、落ちても底の浅い池なので危険度は低いと考えている。</p> <p>○委員：外構は人が集まるように使いたいというテーマが基本構想からあったが、この傾斜では、水盤の周りは使えないのでは。</p> <p>○委員長：傾斜の勾配を緩くすることは可能か。</p> <p>○日建設計：池の面積を減らしながら調整していくことは可能。今後安全対策について検討していきたい。断面などで説明していく予定。</p> <p>○委員：レベル設定について、基準FLはどこに設定しているのか</p> <p>○日建設計：2FのFLが南側の市道・バイパスのFLと同じ想定。</p> <p>○委員長：水盤については、次回委員会の議題として外構計画が上げられているので、次回に断面も含めて、正確なスケールで外構部分を示すということで準備していただきたい。今回はVRの進捗状況報告とする。</p> <p>○委員：原点に戻って委員会で考えたいことがある。委員会で2年間考えてきた基本構想の基となる部分について議論されていない。最近では建築的な論点ばかりでコンセプトを温めるような機会が少なくなってきた。3年前当初市長が四国中央市の未来を担うような街づくりの観点から議論してほしいと挨拶があったように、四国中央市は産業都市としては日本を代表する都市だが文化面では大幅に遅れているのは委員内で共通認識としている。本当の意味での文化性が欠落していることを共通認識だと思っていたが、委員会のなかで文化に対する見解の相違が大きいのではないか。個人的な見解では、本当の文化とは人間性を豊かにし高め、日常と違う視点で物事を考え</p>
-------------	---

るものと思っている。建築的な話が先行されている段階にあり、ソフト面の議論がされていない。ハード面とソフト面が充実したホールを作るべく委員会が立ち上げられたはずなのに、一向にソフト面の議論の場がない。是非ソフト面の議論の場を大切にしてほしい

○委員長:企画運営のベースの議論がないが、事務局としてはどう考えているか。

○事務局:基本構想の中に新たに企画運営委員会を立ち上げるとあるので、前々回の委員会で話したが、別組織で企画運営委員会を新たに組織することを報告し、ソフト面については企画運営委員会で議論を深めていくことで建設委員会の了解を得た。来月早々に企画運営委員会を立ち上げる状況になっている。

○委員:2年間をかけて作り上げた根本のコンセプトは反映させているのか。

○事務局:基本構想を前提にした議論をするということで企画運営委員会は進めていく。

○委員長:当初は設計と企画運営の議論を並行して進める考えもあったが、委員の中には企画運営に係るつもりはない、企画運営は建設委員会のやることではないといった意見があり、委員会全体が企画運営の議論するのは温度差があった。以上の背景から企画運営に特化した議論をする組織を立ち上げた。

○委員:今の建設委員会と設計者が議論する中で、ホールの部分についてはいいものができると思うが、全体として365日人が集うものになるかのビジョンが不透明。本来であれば並行して企画運営の議論がされるべき。建設委員会の方向性をまとめ確認した上で企画運営委員会に渡さないと意味がない。

○委員:リーダーシップを持つ館長的人材が選出されないと、なかなか方向性が定まらないと感じている。早く館長的人材がイニシアチブをとる体制にするべき。委員会と設計者との議論というのはあたかも基本構想を無視して進んでいるように思われる原因は、物理や数学などの記号化されたものが表現されているからではないか。設計者は委員会の思いを翻訳し形にしているところ。設計者は無視して動いているわけではない。文化を育てるというのは崇高なことばかりではなく、B級でいたものがひょんなことからA級に代わることがあると思う。文化についての見解は館長的人材がイニシアチブをとって進めていく方がよい。

○委員:賛成。委員会と並行して、実際に運営する立場の館長を決める必要がある。

○委員:建設委員会のなかでも企画運営について、議論しあう場がないと、建設委員会の意味が生きてこない、建物を建てるだけで終わる。

○委員長:実は、忌憚のないことを議論しあう勉強会を立ち上げる話がある。この会議の役割は基本構想、基本設計の初期の段階では委員会の志を高く

持っていくことがテーマだったが、今の段階では、志を高くすることよりむしろ市民にいかに関わりやすく説明する資料を作るかに時間を設けられている。日建設計の協力によりタイトなスケジュールのなか、進んでいる。ほぼホールのディテールが基本設計としては終わり、今回は外構も含め周辺環境も見ながら、理念に立ち返った議論を呼び返すことができるかと考えている。委員会内で志の高さを議論しているだけでは周りには伝わらない。

○委員：文化ホールには、かなりの市民が期待している。本当の文化とはなにかと渴望している市民に対しても十分心得てなければ四国中央市の発展性はあり得ない。

○委員長：本日は意思統一が図られ、VRを含めて分かり易い資料等も整ってきているように思われる。外構計画に関して課題ができたので次回に向けて検討してほしい。

(閉会)